

D01 自作農創設記念碑



所在地 音江町更進 10 町内会
建立年月日 昭和 15 年 5 月 30 日
建立者 ー
管理者 更進 10 町内会
建立の由来等

明治 23 年より音江町の更進一帯で農場を経営していた齊藤農場（農場主 齊藤弥太郎、管理人高橋伊彰）の自作農創設を求めて増田静八、大沢吉太郎、高橋尚吉・板吉等が代表となり永年に渡る交渉の結果昭和 14 年 11 月の時代の流れと農場主の理解のもと全地の開放を得ることができた。開放時の面積は田 81 町畑 12 町計 93 町小作戸数 34 であった。昭和 15 年この自作農創設を記念して道道沿いに記念碑が建立されたが、昭和 49 年一部補修をし、200m 程離れた現在の町内会館敷地に移設された。

D02 英霊合祀塔



所在地 音江町更進 延命寺
建立年月日 昭和 31 年 9 月 15 日
建立者 英霊合祀塔建立委員会
管理者 延命寺
建立の由来等

英霊合祀塔建立委員会建立。

明治 38 年より昭和 19 年までの戦没者を合祀す。

D03 明治天皇尊碑



所在地 音江町更進 浄信寺
 建立年月日 大正4年
 建立者 ー
 管理者 ー
 建立の由来等
 明治天皇の御遺徳を偲ぶため建てられた石碑。

D04 閉校記念碑



所在地 菊丘コミュニティセンター
 建立年月日 平成4年3月
 建立者 閉校記念協賛会
 管理者 教育委員会
 建立の由来等
 開校84年を以て閉校した菊丘小学校を記念し、碑を建立。

D05 内大部教育発祥の地



所在地 旧吉住教員住宅横
 建立年月日 昭和58年9月9日
 建立者 吉住小学校PTA会
 管理者 教育委員会
 建立の由来等

吉住小学校PTA会が、この地域の教育発祥の地を記す記念碑を建立。
 題字は、教育長 波多野 栄書

D06 閉校記念碑



所在地 更進・吉住コミュニティセンター
 建立年月日 平成4年2月23日
 建立者 創立86周年閉校記念協賛会
 管理者 教育委員会
 建立の由来等

吉住小学校閉校の際、記念として吉住小・中学校の校歌を記した碑を建立したものの。



D07 開拓記念碑



所在地 音江町吉住
(旧吉野神社境内)
建立年月日 昭和27年6月17日
建立者 発起人4名
管理者 ー
建立の由来等

大和国吉野郡大塔村大字阪本郷辻田留吉氏 明治2年4月7日生、北方開拓ノ雄図ヲ抱キ明治42年5月17日移民86戸ヲ率ヒ吉野団体長トシテコノ地ヲ開拓ス

往時ノ同志克ク一致協力今日ノ美田良甫子孫安住ノ礎ヲ築キタリ、指導者タル氏ノ偉大ナル功績ヲ讃ヘ記念碑ヲ建立後世ニ残ス

D08 利水



所在地 音江町内園
建立年月日 昭和39年11月11日
昭和49年11月26日移設
建立者 発起人5名、受益者43名
管理者 ー
建立の由来等

開基70年先人開拓の余恵を継承し水田開発をもって100年の大計とする地区住民の意欲は発起人を船頭としてその実現を画するや諸般の情勢により挫折せんとする事幾度かに及ぶも機熟して神竜土地改良区に編入される所となり道当局竝に下流深川空知各土地改良区の御協力と相俟って内園地区開田計画が樹立され昭和35年5月起工全37年9月全工事の完成を見たのである。10年の宿願茲に達成只感無量である。この感激を永遠に伝へると共に此の事業推進に当り時の村長藤谷軍一神竜土地改良区理事長竹田栄松北海道農地開拓部技師多賀谷能富一の諸氏を始め関係各機関の寄せられたる御熱意に対し満腔の感謝をこの碑に刻んで之を記念するものである。

D09 用水路開発記念碑



所在地 音江町内園
建立年月日 昭和33年10月
建立者 関係住民
管理者 ー
建立の由来等

開発50周年を迎えるに当り茲に碑を建て先人の偉業を讃え後世に其の遺徳を伝へんとする。

D10 「交通安全を祈る」観音像



所在地 音江町国見
建立年月日 昭和38年5月
建立者 深川地区交通安全協会連
合会及び音江村村長
藤谷軍一
管理者 ー
建立の由来等

国道12号線国見峠の水呑場付近での事故が多発した為、当時の警察署長が村長に依頼して建立した。

D 1 1 交通安全地藏



所在地 音江町国見
建立年月日 昭和54年11月
建立者 東海運輸株式会社
管理者 ー
建立の由来等

昭和54年10月5日交通事故に依る犠牲者の冥福を祈り茲に交通安全地藏尊を建立する。

D 1 2 鬼川俊蔵歌碑



所在地 国見峠展望台
建立年月日 昭和17年
建立者 ー
管理者 教育委員会
建立の由来等

鬼川俊蔵は大正3年に深川で病院を開業。医業の傍ら短歌を中心とした文芸活動に傾注。深川の文芸活動に先駆的役割を果たした。

俊蔵は好んで音江に足を運び北原白秋が俊蔵を訪れた際にも国見峠に案内している。

歌碑は昭和17年石狩川河畔(深川橋たもと)に建立されたものを平成6年10月ゆかりの地である国見峠に移設、一部修復したものである。

「砂山を 分ちてさむき大河の ほとばしる 水は 海にいきほふ」

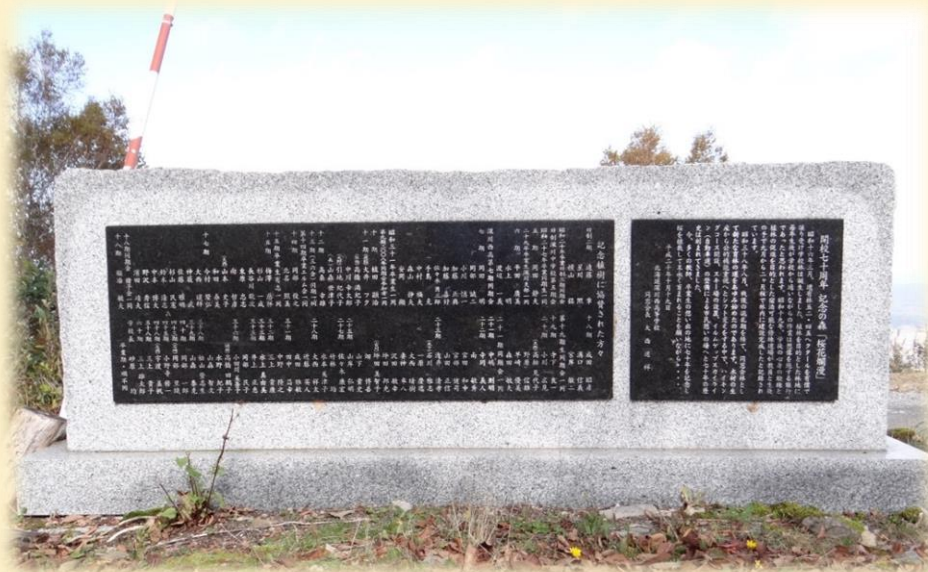
D 1 3 忠魂碑



所在地 音江神社境内
 建立年月日 大正9年6月
 建立者 音江村在郷軍人分会
 管理者 音江町忠霊奉賛会
 建立の由来等

音江村在郷軍人分会が土地の所有者より寄進を受け現在地に建立し日清・日露戦争戦没者より合祀し現在に至る。

D 1 4 開校七十周年 記念の森「桜花爛漫」



所在地 深川西高同窓会林内
 建立者 深川西高同窓会
 建立年月日 平成20年10月19日
 管理者 深川西高同窓会
 建立の由来等

昭和16年3月、道有林52.45ヘクタールを有償で譲り受け学校林は誕生しました。植林を目的とした林地に毎年生徒が学校から通いながらの作業は想像を絶する難行であったと思われます。昭和19年、学徒の心身の鍛錬と植林の促進を目的とした宿泊可能な修練道場が教員と生徒の手で9月から2ヶ月程で林内に建設完成したと記録されています。

昭和38年8月、戦後の混乱期を経て、同窓会林として新たな育林の道をあゆみ始めたのであります。木材の生産から公的機能重視へとシフト変えをする中で、ハイキングコース開設、スキー場の設置、イルムケップスカイライン（自動車道）の整備による市民憩いの場へと70年の歴史は刻まれてきました。

今、多くの教師、卒業生の思い出の地に70年を記念し桜を植栽して末永く育まれることを願いながら……。

D 1 5 スポーツセンター用地造成記念



所在地 音江町音江
建立年月日 昭和46年10月
建立者 深川市
管理者 生涯学習スポーツ課
建立の由来等

この用地造成工事は陸上自衛隊のご理解とご好意により昭和43年より4年間の長きにわたり幾多の困難を克服して施工されたものでその偉業を讃えご労苦に深く感謝しこの碑を建立する。

D 1 6 鈴木雨亭の碑



所在地 青年の家構内
建立年月日 昭和43年10月26日
建立者 雪垣吟社一同
管理者 ー
建立の由来等

深川俳壇の鈴木雨亭氏が文化功労賞を受賞したことから雪垣吟社一同が建立した。

D 1 7 青年の像（飛翔）



所在地 青年の家構内
建立年月日 昭和42年9月1日
建立者 北海道青年団体協議会
管理者 ー
建立の由来等

変ぼうする社会生活の中で現実に根ざしながら創造性を伸ばし、理想と真理の方向に飛翔する青年、新しい開拓者精神に燃え無限の可能性を信じ、たゆまぬ努力が、いつも男女の協調によって、平和な社会を建設している姿を象徴したものである。

制作者は、竹中敏洋氏

題字は、北海道知事 町村金五書

D 1 8 青年の庭



所在地 青年の家構内
建立年月日 昭和42年
建立者 深川市
管理者 ー
建立の由来等

青年の家の前庭を青年の庭と名付けて建立したもので市長真鍋政之の書いたものである。

D 1 9 深沢吉平先祖の像



所在地 きたそらち農協音江金融事務所内

建立年月日 昭和35年11月3日

建立者 ー

管理者 きたそらち農協

建立の由来等

昭和35年音江村名誉村民に推挙されたのを記念して建立。大正3年の冷害で零細な小作農民が食料すら手にすることができなかった時に恵みを求めるより自らの手でそれを生み出す農業を時対策に腐心した。その年村長となると傾斜地農業維持のため有畜酪農、造林、報徳を説いた。後に道議会議員を経て衆議院議員になった。

D 2 0 頭取吉の音大峠倉太の碑



所在地 音江墓地内

建立年月日 昭和9年8月15日

建立者 ー

管理者 ー

建立の由来等

初め音江小学校の近くに建立されたが青年の家の工事にかかって現在地に移された。

草相撲頭取の碑で社会的背景が変わった今では理解できないが頭取が占めていた社会的な立場を表したもの。

D 2 1 沖里河尋常高等小学校跡



所在地 豊泉コミュニティセンター
建立年月日 —
建立者 向陽小学校 50 周年記念協賛会
管理者 —
建立の由来等

昭和 11 年 7 月 31 日に統合のため閉校した沖里河尋常高等小学校跡を記す碑を建立。

昭和 61 年 8 月 24 日再建された。

D 2 2 史跡音江の環状列石



所在地 音江町向陽
建立年月日 昭和 32 年 11 月 3 日
建立者 文化財保護委員会
管理者 生涯学習スポーツ課
建立の由来等

昭和 31 年東京大学駒井和愛教授によって発掘調査が行われ、およそ 2000 年前のアイヌ民族のお墓であることを確認した。

これを記念して建立された。

題字は、文学博士 駒井和愛氏書

D 2 3 北海道文化財百選 音江の環状石籬



所在地 音江町向陽 環状列石付近
 建立年月日 昭和32年10月
 建立者 北海タイムス社寄贈
 管理者 生涯学習スポーツ課
 建立の由来等

昭和32年北海タイムス社が全道に呼びかけ、人気投票の末4位に入選したとき建立したものの。

D 2 4 閉校記念碑



所在地 向陽館
 建立年月日 平成5年2月21日
 建立者 閉校記念協賛会
 管理者 教育委員会
 建立の由来等

昭和11年8月25日に開校し、平成5年3月31日に閉校した向陽小学校の閉校を記念し、碑を建立したものの。



D 2 5 深川市立向陽中学校跡



所在地 向陽館
建立年月日 ー
建立者 向陽小学校 50 周年記念協賛会
管理者 教育委員会
建立の由来等

昭和 56 年 3 月 31 日に統合のため閉校した深川市立向陽中学校跡を記す碑を建立。

D 2 6 創農之碑



所在地 音江町向陽（稻荷神社境内）
建立年月日 昭和 39 年 8 月 27 日
建立者 宝利新一氏 外 5 名
管理者 ー
建立の由来等

明治 23 年新潟出身木村英作の入植に始まる江部乙村の有地農場の小作地開放は前田与作外 7 名の代表者により大正 13 年以降強力な運動を展開し幾多の困難を乗り越え昭和 16 年 12 月農地調整法の施行など時代の推移に加え江部乙町理事者議会の正しい判断と理解のもと全地解放を得ることができた。開放地の面積は田 160 町畑 56 町計 216 町小作戸数は 59 戸であった。地元ではこの開放創農の歴史を永く伝えるため昭和 39 年宝利新一外 5 名が建設委員となり現在地に創農之碑を建立した。

D 2 7 須麻馬内尋常高等小学校跡



所在地 音江町稲田
建立年月日 昭和61年8月24日
建立者 向陽小学校50周年記念協賛会
管理者 ー
建立の由来等
統合のため閉校した須麻馬内尋常高等小学校跡を記す碑を建立。

D 2 8 須麻馬内土功組合記念碑



所在地 稲田ダム駐車場
建立年月日 昭和14年5月
建立者 須麻馬内土功組合
管理者 空知土地改良区
建立の由来等
昭和2年9月、酪農地の須麻馬内に灌漑事業が認可され、この地が開田され、ここに土功組合が設立されたことを記念して建立。

D 2 9 圃場整備之碑



所在地 稲田コミュニティセンター
 建立年月日 昭和54年9月21日
 建立者 稲田地区道営圃場整備事業
 促進期成会

管理者 ー

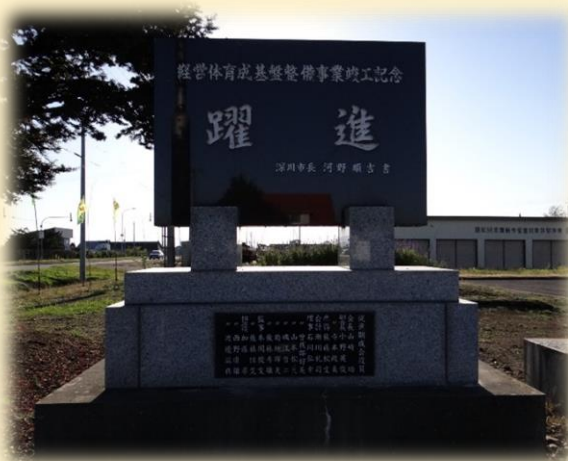
建立の由来等 (碑誌抜粋)

稲田地区は近年我が国の高度経済成長政策により、他産業への労働力の流出と、強まる所得格差は、急激に農業経営を圧迫し、速やかな転換を迫られる状態に立ち到った。

我々は相諮り、圃場等生産基盤の整備と、大型農業機械による省力化のため、道営圃場整備事業の導入を決意し、昭和44年計画採択、翌年着工、同52年工事完成を見たものである。

本事業完成の記念碑を建立するに当り、その経緯と意義を茲に銘記し、之が永く後進に受継がれ、この地区と俱に限りなく繁栄する事を深く念じてやまない。

D 3 0 経営体育成基盤整備事業竣工記念碑



所在地 稲田コミュニティセンター
 建立年月日 平成18年3月27日
 建立者 稲田向陽地区担い手育成基
 盤整備事業促進期成会

管理者 ー

建立の由来等

明治24年向陽同28年稲田に開拓の鋤がおろされ、その間営々と米作りに切磋琢磨し、昭和52年道営圃場整備事業が完了し大型機械が導入され大型化の道を歩み始めたが一転米余り状態に至り、美田に転作を余儀無くされ田畑転換を目的に平成9年期成会発足、同13年事業が採択され、透水性の改善、区画の整理、用排水路整備を主体に農業に担い手育成を目指し着工され本年竣工となり、ここに竣工記念碑を建立する。

D 3 1 杉本翁之碑



所在地 音江町稲田
建立年月日 昭和 30 年 6 月
建立者 受益者 前田岩太他 36 名
管理者 ー
建立の由来等

杉本勇治翁万延元年 1 月 17 日奈良県吉野郡川上村に生まれ昭和 19 年 85 才の天壽を完うす。

翁は明治 31 年 9 月拓志を抱き渡道此地に百数十町歩の荒野を得克く苦難を退け幾星霜農場を聖宮昭和 10 年 6 月衆望に応へ率先全地を開放す之倫に耕作者を思ふ心情の表徴にして誠に感激に堪へない。

尔来 20 年我等 30 余名翁の恩恵を偲び本碑を建立し永劫に遺徳を顕彰する。

